



令和3年12月8日（水）発行

学校だより No.12

沼田市立沼田西中学校

【学校教育目標】「高い知性、温かい心、たくましい体をもつ生徒の育成」

《目指す生徒像》 ○ 向学 ……自ら学ぶ生徒
○ 礼節 ……思いやりのある生徒
○ 進取 ……挑戦する生徒

《目指す学校像》…生徒が心から「通いたい」と思える開かれた学校

《目指す教師像》…熱意、誠意、愛情のあふれる教師

【本年度の重点目標】「主体性と支え愛の創造～3つの気（やる気・勇気・根気）を育てる教育活動の推進～」

人権の重みと支えてもらう安心感を体感（人権講話より）

人権の意味を調べてみると、人権は生まれながらに持っている自由と平等の権利だということです。そして、それは誰も侵すことができないとても大切な権利です。人権がとても大切な権利であるということは誰もがよく理解していることですが、それを実感することができず、深く考えずに人を傷つけてしまうことがあります。そこで、人権の重みや大切さ、そしてそれを支えてもらう安心感を左の写真のように体感してみました。受け止めた重みが人権の大切さだと感じることができ、倒れる側は受け止めてもらった安心感を味わうことができました。

お互いの人権の大切さをよく理解し支え合い、全員で「支え愛」に溢れたいじめのない西中をこれからも創っていきましょう。

タブレットのルールについて考えた＜臨時生徒総会＞

タブレットの使い方のルールについて考えた臨時生徒総会が11月16日（火）の6校時に開催されました。臨時で生徒総会が開催されたということは、**タブレットの使い方が緊急性が有り非常に重要な課題**だということです。

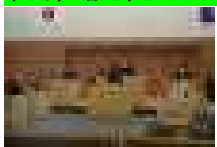


今回の臨時生徒総会は、各学級からの意見が出やすいようにと初めて視聴覚室と各教室を結ぶオンライン方式で行われました。まず、本部役員と各学級の委員長が代表として視聴覚室に集まり本部役員から原案が出され、次に各委員長が教室に戻り原案に対して各学級で意見を出し合いました。そして、その意見をもって再度視聴覚室に集まり検討しました。

それぞれの学級でタブレットの使い方のルールを自分事として真剣に考え、タブレットの目的である学習効果の向上と学校生活の充実に繋がるように、使い方や時間等のルールをまとめることができました。正に、生徒主体でルールが検討されました。

今後、このルールが絵に描いた餅にならないように、自分達で決めたルールを自分達で守っていき、一人一台端末を学校生活の充実と自分達の成長に繋げていきましょう。

害獣被害の消滅と異常気象に対応した商品開発について＜沼田市子ども議会＞



各校の代表が市長さんに質問や提案をする「沼田市子ども議会」が11月20日に開催されました。本校からは生徒会長の青柳はるかさんが参加し、「害獣被害の消滅及びこれからの環境に対応した商品作物の開発について」というタイトルで、害獣被害を出さないために利根実高校が研究している青色LEDライトを活用したイノシシの防護柵を普及させることや異常気象に対応した商品開発をして沼田ブランドとして売り出すことを提案しました。市長さんからは、利根実高の研究がイノシシ以外にも効果があるのか、また獣害の被害を出さないための効果的な方法を市としても研究していきたい、という答弁がありました。

西中の代表として、堂々と具体的な提案をすることができました。

力作を出品＜市図工美術書写展＞



国語や美術の時間に一生懸命に作品作りに取り組み、力作を仕上げることができました。作品作りは粘り強く取り組むことがとても大切です。作品作りを通して「根気」

が大きく伸びました。下記の人達の作品が代表としてテラス沼田に展示されました。
(敬称略)

学年	美 術	書 写
1 年	(1組) 下飯尊生・松村優那 (2組) 稲田まな・綿貫ひまり	(1組) 本多詠斗・生方夢彩 (2組) 関 涼晟・江口仁琴・白石実優
2 年	(1組) 林 蹴斗・石田乃蒼 (2組) 木内咲希・田村海桜	(1組) 霜垣彩心・平井音乃楓・宮下絢羽 (2組) 田邊珀翔・高橋梨乃
3 年	(1組) 生方琥太朗・大堀華凜 (2組) 谷ヶ崎天音・平澤日華	(1組) 長岡草大・青柳はるか・小林美結 (2組) 高橋 笑・綿貫 笑・茂木賢吾

市新人大会・アンサンブルコンテストで西中奮闘！！

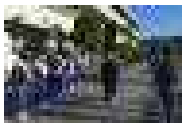
新型コロナの影響で、市中体連新人大大会が例年よりも遅い10月30日（土）から12月5日（日）にかけ、各会場で開催されました。また、吹奏楽のアンサンブルコンテストが11月28日（日）中之条町のバイテック文化ホールで行われました。

新型コロナ対策をとる中で各部とも基礎・基本を中心に練習を重ね、練習してきたことをもとに試合やコンテストで「やる気・勇気・根気」の力を発揮することができました。

＜新人大会・コンテストの結果＞

【市新人大会】	
○軟式野球	団体 準優勝（薄根中・池田中・利根中との合同チーム）
○バスケットボール男子	団体 準優勝
○バスケットボール女子	団体 1回戦惜敗
○バレーボール女子	団体 優勝
○ソフトテニス男子	団体 1回戦惜敗
○ソフトテニス女子	個人 準優勝：伊與久洸太くん・佐々木琉くん
○卓球男子	団体 1回戦惜敗 ベスト8：須藤花乃さん・小野里凜子さん
	個人 準優勝 2年の部3位：富澤優介くん 1年の部優勝：本多潤乃くん 3位：田中拓心くん 本多詠斗くん
○卓球女子	団体 第3位 個人 1年の部準優勝：見城美月さん
○サッカー	準優勝
○剣道男子	個人 入賞なし
○剣道女子	団体 予選リーグ惜敗 個人 入賞なし
○柔道男子	個人 入賞なし（交流試合）
○吹奏楽部	中部地区アンサンブルコンテスト 木管打楽器：銀賞 金管打楽器：銅賞

《コラム～校長室より・校長の独り言～》



現在、12月13日（月）の生徒会役員選挙に向けて選挙活動が行われています。今回の選挙には2年生が10人立候補しています。やる気のある人が多く感心しています。更に感心していることは、毎朝寒い中ですが生徒玄関前で登校してくる人達に元気に挨拶をしていることです。私にも、職員室から外に出るときに元気に挨拶をしてくれます。その元気な挨拶にやる気を感じるとともに、「今日も1日頑張ろう」という活力をもらっています。生徒の主体性が益々伸びる選挙活動となっています。

先日、ある会議に参加したとき、生徒の主体性を伸ばすことをテーマに情報交換する話し合いがあり、参加者がそれぞれ自校の取組を発表しました。私は、沼田西中での取組として、**運動会や西中祭を生徒による実行委員会が中心となって運営したこと、各専門委員会や各学級でいじめ防止活動に取り組んでいること、臨時生徒総会を開いてタブレットのルールについて話し合ったことなどを発表しました。**すると、「素晴らしい取組で、是非自分の学校でも参考にしていきたい」と、多くの参加者から賞賛の言葉をいただきました。

西中生の主体性は、他校の模範となっています。